

問1 中国・四国地方の各県のうち、瀬戸内海に面し、「瀬戸内」の地域区分に含まれる県の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年

山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 山口県・富山県 | 2. 高知県・徳島県 | 3. 鳥取県・島根県 | 4. 香川県・愛媛県 |
|------------|------------|------------|------------|

問2 1990年代から2000年代初頭にかけての、徳島県と日本全国の小売業の動向について、売場面積の変化から読み取れる共通の背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 徳島県では売場面積が急激に減少したが、全国的には2007年まで右肩上がりで推移していた。 | 2. 徳島県では2004年に100万平方メートルを超えたが、2016年の面積は2012年よりも大きくなっており、拡大が続いている。 | 3. 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。 | 4. 全国の売場面積は1991年から1994年にかけて約100万平方メートル減少しており、徳島県のみが拡大していた。 |
|---|---|---|--|

問3 1988年に岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋が開通したことにより、本州と四国の間の交通事情は大きく変化しました。1985年当時にはフェリーを利用して約120分から160分を要していた移動時間が、現在では自動車や鉄道の利用によって約40分にまで短縮されています。このような交通網の整備が地域に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。 | 2. 本州からの人口流入を抑えるため、橋の利用が貨物列車の運行のみに制限された。 | 3. フェリーの利用者がさらに増加し、港を中心とした新しい商業圏が形成された。 | 4. 瀬戸内海の各所で大規模な埋め立てが進み、沿岸部すべてが工業団地へと変化した。 |
|---|--|---|---|

問4 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。 | 2. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。 | 3. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。 | 4. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。 |
|--|--|---|--|

問5 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。 | 2. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。 | 3. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。 | 4. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。 |
|--|---|--|---|

問6 中国・四国地方を地形や気候の特色に基づいて区分した際、日本海側に位置する地域と、本州と四国の間に広がる内海に面した地域をそれぞれ何と呼びますか。適切な組み合わせを選びなさい。 (2022年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|
| 1. 山陰と北陸 | 2. 山陰と瀬戸内 | 3. 瀬戸内と中央高地 | 4. 山陽と東海 |
|----------|-----------|-------------|----------|

問7 中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響 | 2. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響 | 3. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響 | 4. フェーン現象による乾燥した空気の影響 |
|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|

問8 本州と四国を結ぶ「本州四国連絡橋」のうち、岡山県と香川県を接続する「児島・坂出ルート」に架けられ、道路と鉄道の両方が通る併用橋として知られる橋の名称を選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 明石海峡大橋 | 2. 瀬戸大橋 | 3. 来島海峡大橋 | 4. 大鳴門橋 |
|-----------|---------|-----------|---------|

問9 四国地方の東部に位置する徳島県の産業構造において、統計資料上、就業者割合が25.3%と高い数値を示し、全国平均と比較しても盛んであるといえる産業分野はどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業 | 2. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業 | 3. 都市機能の集中による情報通信業 | 4. 化学工業などの分野を中心とした製造業 |
|------------------------|------------------------|--------------------|-----------------------|

問10 香川県などの瀬戸内地方の地形図を確認すると、平野部に「〇〇池」と記された小さな水域が数多く点在していることがわかります。これらの施設がこの地域に多く作られた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 瀬戸内工業地域において、大量に必要な工業用水を確保するため | 2. 台風による大雨が多いため、河川の氾濫を防ぐ貯水池とするため | 3. 急峻な地形を利用して、小規模な水力発電を行うため | 4. 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため |
|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

問11 島根県松江市において、12月や1月の降水量が100mmを超え、他の季節と比較しても降水量の差が太平洋側に比べて小さくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。 | 2. 年間を通じて温暖な黒潮の影響を強く受け、台風の通り道になりやすいため。 | 3. 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風の影響を受けにくく乾燥するため。 | 4. 夏に太平洋から吹く季節風が、四国山地を越えて湿った空気を運んでくるため。 |
|--|--|---|---|

問12 西日本の地図において、中国地方の日本海側に面している県のうち、東側に位置する鳥取県のすぐ西側に隣接している県はどこですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 岡山県 | 2. 広島県 | 3. 山口県 | 4. 島根県 |
|--------|--------|--------|--------|

問13 愛媛県南西部の坂下津から戎ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。 | 2. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。 | 3. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。 | 4. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 香川県・愛媛県	香川県と愛媛県はともに瀬戸内海に面しており、温暖で雨が少ないという瀬戸内特有の気候を利用した塩田跡地での産業や、かんきつ類の栽培が盛んです。鳥取県・島根県は日本海側の「山陰」に属し、高知県は太平洋側の「南四国」に属します。また、富山県は中部地方の北陸地域に位置するため、中国・四国地方の区分には含まれません。
問2	答え 3 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。	徳島県では1991年から2004年にかけて面積が増加し、全国的な統計でも1991年の約117（百万平方メートル）から1994年の約125（百万平方メートル）へと増加しており、さらに2007年まで右肩上がりの傾向が続いていました。このように地方と全国が共通して、一定期間にわたり小売業の施設規模を拡大させていたことがわかります。
問3	答え 1 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。	瀬戸大橋の開通によって、本州と四国の間が陸路で結ばれ、移動手段が従来のフェリーから自動車や鉄道へと代わりました。これにより移動時間が大幅に短縮され、岡山県と香川県の間で県境を越えて通勤や通学を行う人々が増えるなど、地域間の結びつきがより密接になりました。
問4	答え 4 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問5	答え 2 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ島居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問6	答え 2 山陰と瀬戸内	中国・四国地方は、日本海側の「山陰」、瀬戸内海に面した「瀬戸内」、太平洋側の「南四国」の3つの地域に区分されるのが一般的です。これらは地形的な障壁となる山地の存在や、それに伴う気候の大きな違いに基づいた区分です。
問7	答え 2 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響	太平洋側の地域は、夏に小笠原高気圧から吹き出す南東の湿った季節風の影響を強く受けます。さらに、初夏の梅雨前線の停滞や、夏から秋にかけて接近・上陸する台風によって、短期間に大量の雨が降ることが多いため、年間降水量も非常に多くなります。これに対し、日本海側の冬季の多雨は北西の季節風が主因となります。
問8	答え 2 瀬戸大橋	岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶルートは、1988年に開通した瀬戸大橋によって結ばれています。この橋は世界最大級の道路・鉄道併用橋であり、それまでフェリーが中心だった本州と四国間の輸送を劇的に変化させました。他の選択肢である明石海峡大橋は兵庫県と淡路島を、大鳴門橋は淡路島と徳島県を、来島海峡大橋は広島県と愛媛県を結ぶルートの一部です。
問9	答え 4 化学工業などの分野を中心とした製造業	徳島県は、京阪神に近い地理的条件や歴史的な背景から、化学工業や製薬業などの製造業が非常に発達しています。全就業者に占める製造業の割合は約4分の1に達しており、これは全国平均と比較しても高い水準にあることが、この県の産業構造の大きな特徴です。
問10	答え 4 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため	瀬戸内地方は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、季節風が運ぶ湿った空気が遮られ、年間を通じて降水量が少ないという気候的特徴があります。特に夏の乾燥による水不足を防ぎ、稲作に必要な農業用水を安定して供給するために、古くから多くの「ため池」が作られてきました。
問11	答え 1 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。	日本海側の気候の大きな特徴は、冬の降水量（降雪量）が多いことです。シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風が、比較的暖かい日本海（対馬海流）の上を通る際に大量の水蒸気を取り込み、山脈に突き当たることで上昇気流が発生し、降水をもたらします。これにより、冬の乾燥が著しい太平洋側とは異なる降水パターンを示します。
問12	答え 4 島根県	中国地方の日本海側には東から鳥取県、島根県の順に県が並んでいます。鳥取県と混同されやすいですが、西側に位置するのが島根県であることを地図上の位置関係から把握しておくことが重要です。
問13	答え 1 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	リアス海岸付近は平地が非常に少ないため、人々は山が海に落ち込む急斜面を切り拓いて段々畑を作り、土地を有効活用してきました。温暖な気候に加え、海からの反射光や水はけの良さが果樹栽培に適しているため、みかんを中心としたかんきつ類の栽培（果樹園）が盛んです。地形図においても、海岸線から山側にかけて果樹園の地図記号が密集している様子が見て取れます。